



JQA-2631 (本社工場)
JQA-EM3548 (本社工場)



住宅屋根用化粧スレート



乾式洋瓦



波形スレート
(アスベスト含有・ノンアスベスト)



プレスセメントがわら

エポックマイルドシーラー

EPOCH MILD SEALER

弱溶剤系2液型エポキシ樹脂シーラー



エポックマイルドシーラー

屋根の塗り替えをもっと自由に

屋根塗装の最大のポイントは、**基材の種類に適した下塗り材を選ぶ**こと。

エポックマイルドシーラーは、窯業系屋根基材に幅広く適合し

上塗りに弱溶剤系塗料と水系塗料の両方をご選択いただける **万能タイプの下塗り材**です。



1. 幅広い基材に適合

一般住宅屋根に広く使われている各種スレート系基材および乾式洋瓦に使用できます。既存塗膜に優しい弱溶剤なので、リフティングしにくく、多くの窯業系下地に適用できます。
※粘土がわらには塗装できません。

2. 幅広い上塗りが選択可能

上塗りに弱溶剤系塗料はもちろん、水系塗料も使用できます。現場に合わせた幅広い選択が可能です。



3. 優れた補強効果で仕上がりが美しく

下地に深く浸透してがっちり密着させる2液反応型エポキシ樹脂を採用することで、吸い込みが大きい下地に対して高い補強効果を発揮します。固形分濃度が高いので造膜性能が高く、上塗り塗装後の外観が美しく仕上がります。

こんな場合に効果を発揮します！

- 基材や既存塗膜の劣化が著しい場合。
- 既存塗膜の耐溶剤性が悪く、リフティングが発生する可能性のある場合。
(但し、既存塗膜の種類や付着状態によってはリフティングが発生する場合があります。)

塗膜性能

試験項目	評価方法 品質基準	試験結果
付着性	JIS K 5600-5-6 (クロスカット法 2mm 幅)	分類 0
耐おもり落下性	JIS K 5600-5-3 (デュボン式) 500g × 30cm × 1/2φ	異常なし
引っかかり硬度	JIS K 5600-5-4 (鉛筆すり傷法)	F
耐湿潤冷熱繰返し性	JIS K 5600-7-4 (23°C×18h浸せき/-20°C×3h/50°C×3h 10サイクル)	異常なし
耐液体性	JIS K 5600-6-1 (水道水 浸せき法) 23°C × 10日間	異常なし

塗装仕様

住宅屋根用化粧スレート／波形スレート(アスベスト含有、ノンアスベスト)／プレスセメントがわら
 プレスセメントがわらに塗装する場合、既存塗膜が未劣化の場合は塗装を避けてください。

工程	使用塗料	塗装方法	希釈割合	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /棟)	可使用時間 (23°C)	塗装間隔(23°C)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、脆弱部分、塵あい、苔、油脂類は高圧洗浄機で除去後、充分に乾燥した清浄な面とする。(含水率8%以下、pHは10以下)									
下塗り	エポックマイルドシーラー (主剤10kg 硬化剤1kg)	ハケ・ローラー	既調合	1 (~2)	0.1~0.15	73~110 (36~55)	8h以内	— (4h以上)	5h以上 7日以内	—
		エアレス								
上塗り (例)	パワーシリコンマイルドII (主剤14kg 硬化剤2kg)	ハケ・ローラー	10~20% (RMシンナー)	2	0.12~0.15	53~67	5h以内	4h以上 10日以内	—	16h以上
		エアレス	25~35% (RMシンナー)		0.13~0.16	50~62				
	バイオマスR-Si (主剤14kg 硬化剤1kg)	ハケ・ローラー	10~30% (RMシンナー)	2	0.12~0.15	50~63	5h以内	4h以上 10日以内	—	16h以上
		エアレス	30~40% (RMシンナー)		0.13~0.16	47~58				
	水系ナノシリコン (15kg)	ハケ・ローラー	5~10% (希釈水)	2	0.15~0.18	42~50	—	2h以上	—	12h以上
		エアレス								
その他弱溶剤系上塗り塗料・水系上塗り塗料										

乾式洋瓦(モニエル瓦・スカンジヤ瓦等)

工程	使用塗料	塗装方法	希釈割合	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /棟)	可使用時間 (23°C)	塗装間隔(23°C)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	劣化塗膜、剥離塗膜、脆弱なスラリー層等をデッキブラシ、ワイヤーブラシ、皮スキ等を用い、手作業で除去する。 最後に高圧洗浄(吐出圧力12MPa {120kgf/cm ² } 程度)で完全に清浄な被塗面にする。 脆弱なスラリー層が残った場合は、シーラーの付着不良を起こす可能性があるため完全に取り除く。									
下塗り	エポックマイルドシーラー (主剤10kg 硬化剤1kg)	ハケ・ローラー エアレス	0 (注1)	1 (~2)	0.15~0.20	55~73 (28~37)	8h以内	— (4h以上)	5h以上 7日以内	—
確認	シーラー塗装後、ガムテープ等で付着性を必ず確認してください。 1. テープに着色スラリー層が付着する場合は、再度シーラーを塗装してください。 2. テープに旧塗膜が付着する場合は、塗膜の膨れ、剥離、およびリフティングが発生する場合があります。 再度クレン作業を行い付着不良の旧塗膜を除去後、再度シーラー塗装してください。									
上塗り (例)	パワーシリコンマイルドII (主剤14kg 硬化剤2kg)	ハケ・ローラー	10~20% (RMシンナー)	2	0.12~0.15	53~67	5h以内	4h以上 10日以内	—	16h以上
		エアレス	25~30% (RMシンナー)		0.13~0.16	50~62				
	バイオマスR-Si (主剤14kg 硬化剤1kg)	ハケ・ローラー	10~30% (RMシンナー)	2	0.12~0.15	50~63	5h以内	4h以上 10日以内	—	16h以上
		エアレス	30~40% (RMシンナー)		0.13~0.16	47~58				
	水系ナノシリコン (15kg)	ハケ・ローラー	5~10% (希釈水)	2	0.15~0.18	42~50	—	2h以上	—	12h以上
		エアレス								
その他弱溶剤系上塗り塗料・水系上塗り塗料										

(注1) 冬場や、基材の状態により塗料の溜まり部が発生するなど乾燥性が懸念される場合は、塗料用シンナーA で2L程度希釈し、約半量で2回塗装してください。

※ 20年以上経過した基材等、基材表面が劣化し脆弱になっている場合は、エポックマイルドシーラーを2回塗装してください。

※ 塗付量にシンナー・希釈水は含まれません。塗付量は条件により増減します。

適海上塗り塗料 一覧

弱溶剤系塗料

- パワーフロンマイルド
- パワーシリコンマイルドII
- バイオマス R-Si
- ルーフマイルド Si
- ルーフマイルド U
- NAD ポリマ Si

水系塗料

- 水系パワーフロン
(中塗りが必要です)
- 水系シリコン
- 水系ナノシリコン
- 水系カスタムシリコンII
- ルーフピアノ

遮熱塗料

- 快適サーモシリーズ

※ 水系パワーフロンを塗装する場合は「水系パワーフロン中塗り」が必要です。

※ 快適サーモシリーズを施工する場合は、遮熱効果向上のため、工法に適合した中塗り(サーモベースプライマー、快適サーモプライマークリーム、快適サーモW中塗りクリーム)を施工してください。詳しくは各種上塗り塗料のカタログをご参照ください。

荷 姿

エポックマイルドシーラー … 11kgセット(主剤10kg 硬化剤1kg)

水谷ペイント 塗料用シンナー A … 16L、4L

注意事項

各種上塗りの注意事項は、別途参照願います。

【仕様全般】

1. 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度(80%以上)・低気温(5℃以下)の場合は施工を避けてください。
高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたると艶引けを起こすおそれがあります。
2. 塗装直後、降雨や結露等で白化した場合、目粗しを行って再度塗装してください。
3. 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
4. 乾式洋瓦で表面に光沢が残っている場合(クリヤー層)は、リフティング現象等を起こしますので使用不可となります。
5. プレスメントがわらで既存塗膜が未劣化の場合、密着不良の可能性があるので、必ず養生してください。
6. エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性があるので、必ず養生してください。
7. 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
8. シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こすことがあるため、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプをご使用ください。
9. 水切り部(基材の小口間)が塗料でふさがっている箇所は皮すき等で縁切りを行ってください。
(基材と基材の間に隙間がないと、結露や雨水の逆流により、雨漏りや敷板が腐る恐れがあります。)
10. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
11. 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
12. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

【塗料に関する注意事項】

1. 使用前には充分攪拌してください。
2. 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は充分にご確認ください。
3. 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください(専用シンナーをご使用ください)。
4. 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の割合割合で混合し、マーゼル等で充分攪拌してください。
5. 2液型塗料は、塗料ごとの可使時間内に塗装してください。また、気温が高い場合極端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
6. 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
7. 溶剤系塗料に使用するハケ・ローラーは、溶剤系専用のものをご使用ください。
8. 溶剤系塗料に使用したハケ・ローラーの洗浄には、ウレタンシンナーまたはアクリルシンナーをご使用ください。
9. 2液型塗料は、硬化が不十分な場合は、RMシンナーで再溶解する場合があります。
10. 2液型塗料は、主剤と硬化剤は別々に密栓し冷暗所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。
11. 材料の保管・取り扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。



水谷ペイント株式会社

本 社	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3151 FAX (06) 6393-1101
大阪支店	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
西日本開発部	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
東京支店	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
東日本開発部	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
北関東支店	☎ 348-0038	埼玉県羽生市小松台2-705-22	☎ (048) 563-0355 FAX (048) 563-5124
中部支店	☎ 486-0815	愛知県春日井市十三塚町3-6	☎ (0568) 85-3551 FAX (0568) 85-3556
広島支店	☎ 734-0022	広島市南区東雲1-13-16	☎ (082) 284-6556 FAX (082) 283-0017
福岡支店	☎ 811-2304	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1	☎ (092) 611-5731 FAX (092) 621-2301
仙台営業所	☎ 984-0042	仙台市若林区大和町1-22-36	☎ (022) 782-6770 FAX (022) 232-6871
札幌営業所	☎ 003-0006	札幌市白石区東札幌6条5-2-6	☎ (011) 824-5711 FAX (011) 824-6464
工 場		本社・埼玉・中部・広島・福岡	

特約店

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

塗料相談室 塗料に関するご質問、お問い合わせは…



☎ 06-6391-3039

営業時間：午前 9:00～12:00 午後 1:00～3:00



再生紙に大豆油インキを使用しています。

2108100124654